毛呂山町児童館 安全計画

1. 安全点検

(1) 施設・設備の点検

■重点点検

時期	内 容	時期	内 容
4月	・緊急連絡先 ・AED点検	10月	・館内全体(水道、トイレ、建 付け、高所等)
5月	・遊具点検 ・植栽等の危険箇所確認	11月	・館庭全体(内扉、フェンス、 固定遊具、排水路等)
6月	・冷房機器の点検、整備	1 2月	・暖房機器の点検、整備
7月	• 施設外壁点検(剥離箇所等)	1月	・パソコン、OA機器等の点検 (スイッチやコンセント等 の配線器具)
8月	・消防用設備保守点検(機器点 検)	2月	・消防用設備点検(機器・総合 点検)
9月	・避難方法、避難経路の安全点検・防災備品点検	3月	・施設倉庫内の点検・整理

■毎月点検

- ・児童館施設安全点検 「児童館施設安全点検記録表」による
- ・児童館屋外遊具点検 「児童館屋外遊具点検表」による

■定期点検

・消防用設備保守点検業務委託(消火器具、非常警報器具及び設備、誘導灯及び 誘導標識、総合点検)

(2) マニュアルの策定・共有

分 野	策定時期	見直し(再点 検)予定時期	掲示・管理場所
事故防止(事故発生時対応)マニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile
防災マニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile

悪天候時対応 マニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile
不審者対応時マニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile
防犯マニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile
感染症・アレルギー対策マ ニュアル	令和7年9月	令和12年9月	・町ホームページ・事務所・mfile

*110番、119番対応を含む

2. 児童・保護者に対する安全教育等

(1) 児童への安全教育(安全学習)

児童の年齢、発達や能力に応じた方法で、児童自身が安全や危険を認識し、災害 や事故発生時の約束事や行動の仕方について学習し、習得できるよう援助する。

- ▶ 施設の安全な使用
- ▶ 玩具、遊具の安全な使用
- > 災害時の避難経路と避難場所の確認
- ▶ 不審者侵入を想定した非常時の対応
- ▶ 感染症対策
- ▶ 熱中症対策
- ▶ 来館・帰宅時の安全管理

(2) 保護者への周知・共有

保護者に対し、児童館において策定した安全計画やマニュアル等の安全に関する 取組内容を周知・共有する。保護者や学校等に対して情報の周知・共有を実施する。

- ▶ 安全計画・安全管理マニュアルの周知
- > 災害時の避難方法の説明、避難経路の館内掲示
- ▶ 保護者への来館時の事故防止の協力依頼
- ▶ 児童館だより、ホームページ等の活用

3. 訓練·研修

(1)避難訓練等

避難訓練は、様々な状況を想定して行う。不審者の侵入を想定した実践的な訓練や 通報訓練、災害等の発生に備え、定期的に実践的な訓練を行う。

訓練内	実施予定時期	参加予定者
不審者対応訓練(110番通報訓練等)	5月	職員来館者
消火訓練、通報訓練、避難訓練 震災訓練、防火教育	6月・12月	・職員・来館者・消防組合
来所・帰宅時における非常時対応訓練	9月	職員来館者
救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去、 AED・エピペンの使用等)	2月	• 職員

(3) 職員への研修・講習

児童館職員は、次の内容について研修、講習を定期的に受けることとする。

研修・講習内容	受講
救急救命講習	概ね2年に1回
地震対応及び火災発生対応並びに防止に対する研修	随時
要支援児童への理解と対応について	随時
食物アレルギーの理解と対応方法	随時
おう吐物処理	随時

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール

※所属する自治体や児童が通う学校が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらず記載。

訓練・講習	実施機関	時期
土砂災害・全国統一防災訓練及び水防訓練 (情報伝達訓練、避難訓練)	毛呂山町役場	6月
毛呂山町防災訓練	毛呂山町役場	10月
緊急地震速報を活用した行動訓練	毛呂山町役場	11月
職員「安否確認訓練」及び「非常参集訓練」	毛呂山町役場	3月
シェイクアウト埼玉 (県内一斉防災訓練)	埼玉県議会	9月
普通救命講習	西入間広域消防組合	7月・2月
普通救命講習 e -ラーニング	西入間広域消防組合	10月

上級普通救命講習	西入間広域消防組合	8月・12月
応急手当WEB講習	西入間広域消防組合	通年
甲種・乙種防火管理新規講習	西入間広域消防組合	10月
甲種防火管理再講習	西入間広域消防組合	2月

4. 再発防止策の徹底(ヒヤリ・ハット事例の収集・分析の方法等)

- ▶ 安全点検中に危険個所を確認した時や、重大事故につながりそうな事例発生時には、その都度ヒヤリハット記録におこし情報共有を行うとともに、職員全員で改善策・再発防止策を検討し実施する。また、修繕等で事故再発防止が可能と判断できる場合には、修繕実施の方向で検討する。
- ▶ 年度末に1年度分のヒヤリハットについて振り返る時間を設け、次年度の安全 計画やマニュアルに反映させる。